

平成22年度 校内研究計画

1 研究主題名

「自己表現力をはぐくむ言語指導のあり方の研究」

2 主題設定の理由

本校では、学校目標に『自己表現力』を掲げており、新指導要領にも『生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、言語活動の充実』が謳われている。そこで本校では、『自己表現力』を『自ら考え、判断し、行動できる生徒』、『人とうまくコミュニケーションをとれる生徒』、『TPOを考えた表現ができる生徒』、『自分の気持ちや考えをうまく人に伝えることができる生徒』と捉えることとした。また、昨年度から『自己表現力』の向上について、ソーシャルスキルを身に付ける授業やグループワークトレーニングの実施、ほめ短歌や四字熟語スピーチなど、いろいろな取り組みを試みた。しかしながら「継続的な取り組みをしないと成果は得られない」、「全校挙げての取り組みが必要」などの反省点も挙げられた。

また、生徒によるアンケートの結果を見ると、ソーシャルスキルを身に付ける授業に取り組んだクラスでは、その後の言葉遣いが変わったという生徒は66.8%、短歌の創作により言葉の勉強になったという生徒は70.3%、四字熟語スピーチで言葉の勉強になったという生徒は84.5%と、かなり高い数値を上げることができた。

そこで今年度は、『自己表現力』というテーマを継続して、学校全体でこれらの取り組みを行うことで昨年度の研究をさらに推し進めることとした。

3 研究の目標

自ら考え、判断し、行動し、人とうまくコミュニケーションをとり、TPOを考えた表現、自分の気持ちや考えをうまく人に伝えることができるような生徒を育成するため、その指導方法や環境づくりの在り方を探り、その確立を図る。

4 研究の内容と方法

(1) スキル部会

- ・ 尊敬語、謙譲語、丁寧語を意識した敬語の効果的な指導法の研究。
- ・ ソーシャルスキルトレーニング、コミュニケーションスキルの指導法の研究。
- ・ 指導法研究のための研究授業の実施。

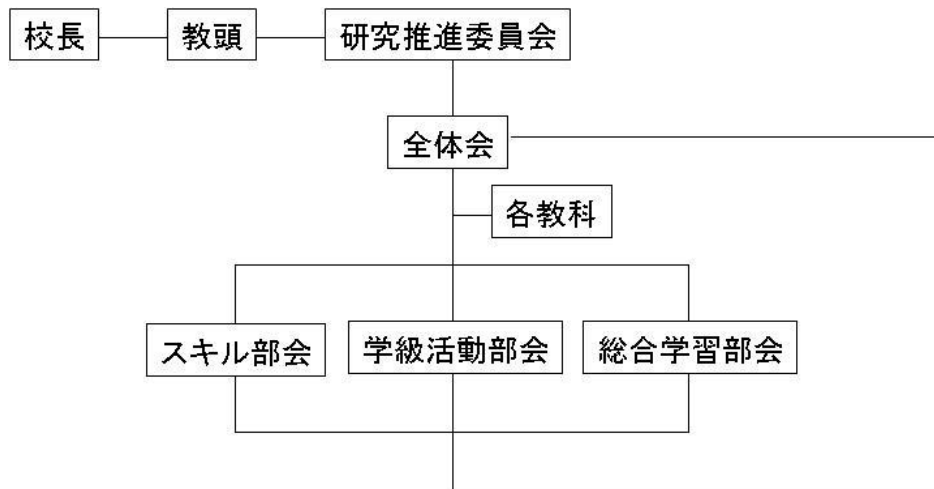
(2) 学級活動部会

- ・ 言語活動を充実する効果的な掲示物の在り方の研究。
- ・ 言語能力を高める効果的な朝読書の在り方や帰りの会で行うスピーチの効果的な在り方の研究。
- ・ 聞き手や話し手の気持ちを考えた表現の仕方及び聞く態度の効果的な指導法の研究。
- ・ 効果的な指導法の検討会の実施。

(3) 総合学習部会

- ・ 教科等を横断した課題解決的な学習や探究活動へと発展させる具体的指導法及び説明し伝え合う発表の仕方の研究。
- ・ 地域や学校外の方々へのアプローチの仕方などの指導法の工夫。
- ・ 指導法研究のための研究授業の実施。

5 研究の組織



研究推進委員会	校長	教頭	教務	納塚	八田	黒谷
スキル部会	○納塚	吉丸	新川	満松	田島	
学級活動部会	○黒谷	公文	井上	中島茂	岩永	
総合部会	○八田	中島泰	上瀧	樋口		

※ ○は、部長

6 研究の計画

回	月日	研究推進委員会	全体会	部会		
				スキル部会	学級活動部会	総合学習部会
1	4月	1回目の進め方	・昨年度の取り組み状況の確認 ・研究計画の提案 ・各部長の決定			
2	6月	2回目の進め方		取組内容の決定		
3	7月	3回目の進め方		実践研究(指導案の作成、検討、具体的な指導の実践)		
4	8月	4回目の進め方		全体研修(取組内容の分析及び意見交換)		
5	9月	5回目の進め方		実践研究(研究授業及び授業検討会の実施)		
6	10月	6回目の進め方		実践研究(指導案の作成、検討、具体的な指導の実践)		
7	11月	7回目の進め方		実践研究(意見交換、問題点の整理と解決方法の探究)		
8	1月	8回目の進め方		各部会の総括		
9	2月	9回目の進め方	今年度の研究のまとめ			
10	2月	10回目の進め方	次年度への提言			